

中学校建設工事の実施設計がまともになりました

本年6月から第1期工事が始まります

問い合わせ先
教育委員会学校教育係
(32) 9100

実施設計策定経過と 建設工事計画

中学校建設工事の実施設計は、平成21年度の工事着手に向け、昨年5月に長野市の株式会社宮本忠長建築設計事務所と策定業務の委託契約を締結し、19年度に策定した基本設計をベースとして、その検討作業を進めてきました。

実施設計に当たっては、中学校との打ち合わせを始め、中学校建設委員会、共同調理場担当者会での協議を積み重ね、この3月には町議会全員協議会で計画の承認を得ました。

今後は、本年5月に第1期工事の入札を行い、6月から平成23年度までの3カ年をかけて建設し、23年4月には新校舎の開校、23年12月には新設グラウンドの造成まで含めた建設工事の全てを完了する予定です。

環境対策と維持管理 コストの低減

環境対策の観点からは、校舎棟に外断熱とペアガラスサッシを組み合わせ、熱損失が少なく省エネ効果の高い工法のエコスクールを計画しています。

この工法は、通常の内断熱工法と比較し、冷暖房の維持管理コスト

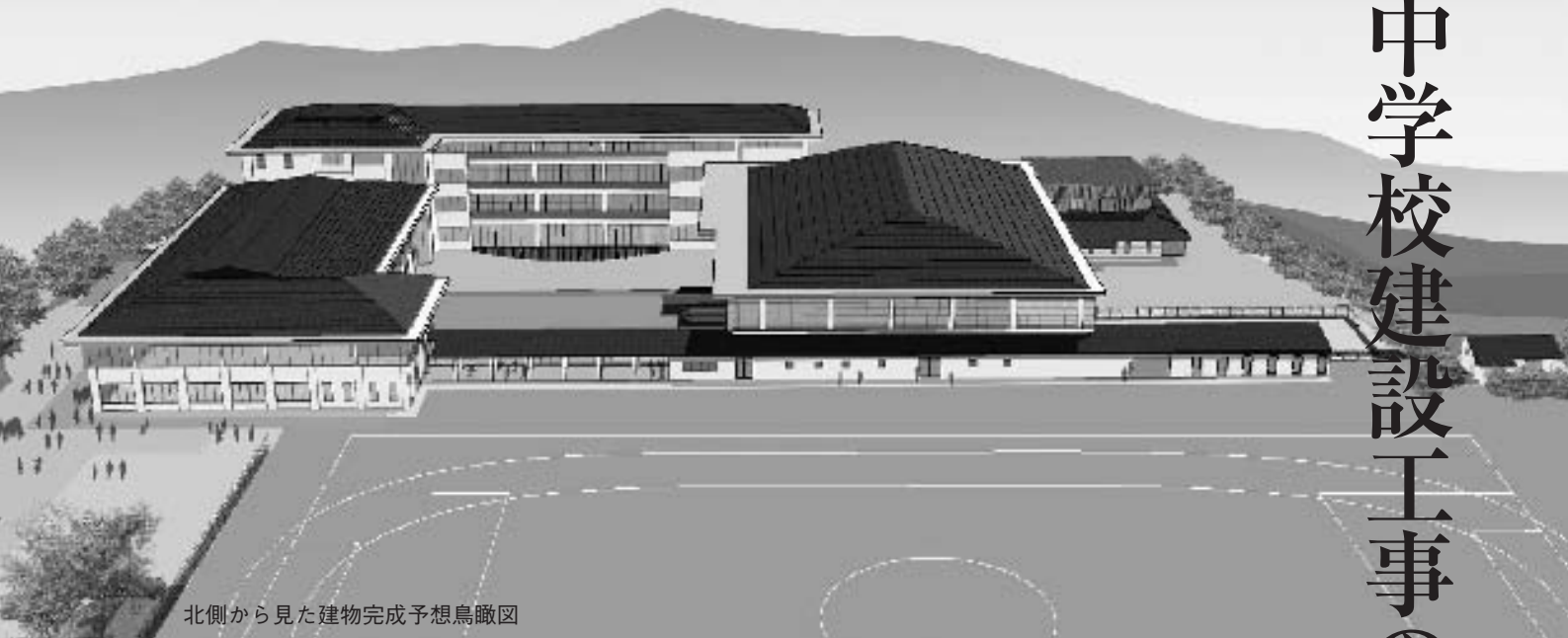
トやCO²の排出量を19%近く削減することができ、建物の長寿命化も図れます。

この計画により、エコスクールとして国庫補助率の加算措置を見込んでいます。

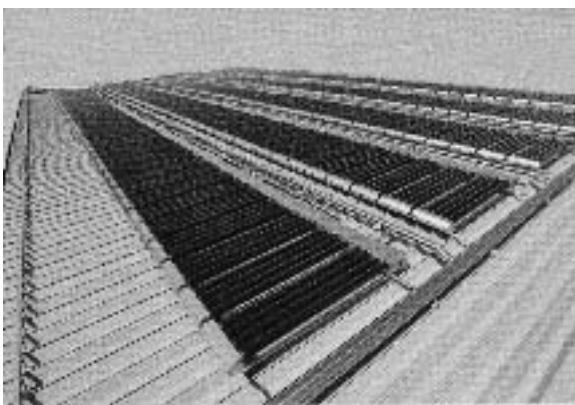
また、第2期工事で建設する共同調理場においても、校舎棟と別棟にすることで基本料金が低額な産業用電力を受電するとともに、CO²の排出量削減効果の高い太陽熱を利用した給湯設備を導入することにより、環境にやさしく維持管理コストの低減を考えた計画としています。

この他にも、空調・暖房設備の熱源に都市ガスを利用することやトイレに節水型便器とセンサーによる自動点滅照明を取り入れるなど、あらゆる面において維持管理コストの低減を図る計画としています。

これらの環境対策によるCO²排出量の抑制効果は、太陽熱利用だけ見ても、通常の給湯ボイラー方式と比較し、年間56tの削減が見込めます。

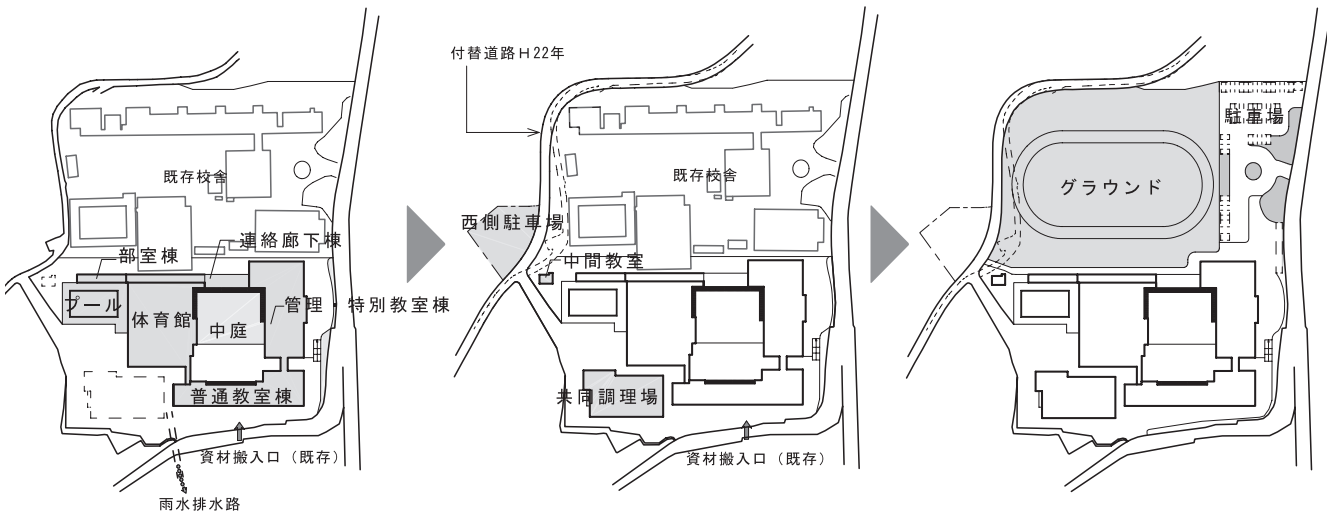
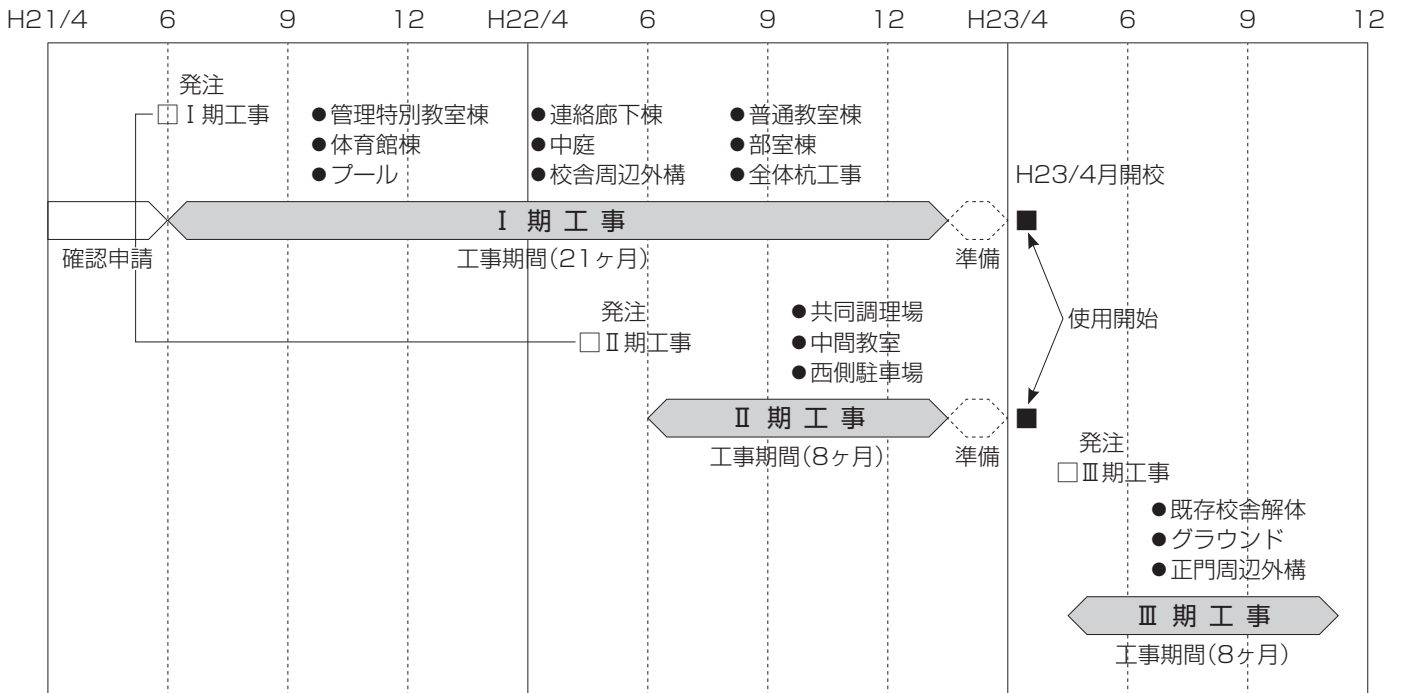


北側から見た建物完成予想鳥瞰図



太陽熱集積パネル設置事例

中学校建設工事年度別工程計画



第1期工事

平成21～22年度にかけての複年施工により、校舎棟、体育館棟の建設、及びプール、中庭、校舎周辺外構工事を実施します。
また、建物建設に先行し、建設地盤強化のための杭工事を行います。

第2期工事

平成22年度の単年施工により、共同調理場棟、中間教室棟の建設、及び西側の職員駐車場整備工事を実施します。
また、共同調理場棟の整備に伴い、南・北小学校の給食搬出入口の改造工事も行います。

第3期工事

平成23年度の単年施工により、既存校舎解体、グラウンド造成、正門周辺の外構工事を行います。